



吉高ニュース

平成27年度 7月号

岐阜県立吉城高等学校渉外部

6月の様子 ～校訓「行学一致」「自主・創造」「心身の錬磨」～

6/5 保護者対象大学見学会

本校育友会では、毎年、保護者を対象に、大学見学会を企画しています。5日の午前中は、富山大学で理学部や人文学部等を見学しました。昼食は富山大学の学生食堂でとりました。午後は、富山県立大学工学部で図書館等を見学し、富山福祉短期大学では看護実習、社会福祉、幼児教育の施設を見学しました。



「保護者にとっても、実際に見て聞くことは大切だと思いました。」どの大学もサポートがしっかりしており、資料だけでは、わからない部分が見学できました。」(参加者)

6/13 ひまわりプロジェクト

第2弾は「ひまわりの種まきをしよう!」です。先月の第1弾「みんなで畑を耕そう!」に続いて、今月は「2008年度吉城高校卒業生と、本校の生徒・教職員が、一緒になって種まきに汗を流しました。」



最初に、みんなでアイデアを出し合っておしゃれな手作り看板を作りました。種まきは、ちびっ子の応援も得て頑張りました。8月に開花する予定です。

6/15～7/3 教育実習:26「実習生講話会」

今年は、西弥寿子さん(地歴公民)、牛丸慎一郎さん(理科)、大家達佳さん(保健体育)、加藤真奈さん、小洞琢己さん、屋貝美帆さん(英語)、の6人が母校で教育実習を行いました。26日放課後には「実習生講話会」が開催され、現役大学生である教育実習生の皆さんに、生の声で具体的な受験体験や大学生活を紹介してもらいました。多数参加した在校生の進学意識は高まりました。



「大学に進学した動機や、大学受験の準備・受験勉強の仕方が参考になりました。」「大学生活について聞くことができ、興味を持ちました。やる気が出てきました。」(三年生)

6/23 課題研究発表会

2年生から取り組んできた3年生理数科の課題研究の発表会を、古川町総合会館で行いました。保護者の方や古川中学校の3年生も多数参加し、質問もあって有意義な発表会となりました。



「客観的データをきちんととらないと、科学として成り立たないことがよくわかりました。」「かなりの時間とエネルギーを使いました。達成感を味わうことができました。」(発表者)



第23回現代フォーラムのご案内

本校の伝統行事に「現代フォーラム」があります。現代社会の様々な問題からテーマを設定し、意見を述べ合います。このような公開討論会を、図書委員会の運営で年2回実施しています。

今回のテーマは「人間とロボット」です。ロボットの技術が発達し、社会の様々な場面で活躍するようになりました。また、コンピュータ技術の発達は著しく、すさまじい勢いでデジタル化の波が進み、自動車の自動運転をはじめ、ロボット技術は人間の行うことを代行できる存在になりつつあります。人工知能の研究も進んでいますが、人工知能の発達は何をもたらすのでしょうか。人間とロボットの関係を通じて人間社会のあり方を見直したいと思います。

このテーマについて、次の生徒6人がパネリストとなり、自分の意見を述べ合います。また、専門の先生の講演もあります。

2B：玉腰 尚嵩、 2C：西野 友希、 2D：三本木 ひなた

人間とロボット

2D：柚原 明妃、 3B：山口 紋佳、 3D：尾上 貴透

日時 7月22日(水) 開場 13:00
開会 13:30~15:30

会場 本校会議室 (管理棟一階)

内容 パネルディスカッション (6名の生徒)

講演：山本秀彦 先生 (岐阜大学工学部機械工学科知能機械コース教授)

演題 「知能を持つコンピュータ：ロボット・人間・人工知能」

吉城高校では、「生徒が自分で考え、自分の言葉で発信する力」の育成を大切にしています。

詳しくは、吉城高校までお問い合わせください。(担当職員：上嶋)
【電話】0577-73-4555